

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびるwith 枚方教室		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	学習支援と個別療育を組み合わせ、一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行っている点が強みである。 学習面だけでなく、生活面・コミュニケーション面も含めた総合的な支援を行うことで、利用児童の自己肯定感や主体性の向上につながっている。	学校の進度や個々の理解度に応じた教材準備を行うとともに、ICT教材や支援ソフトを活用し、職員間・保護者間での情報共有を強化している。 また、定期的な支援会議やモニタリングを通じて支援内容の見直しを行い、支援の質の向上に努めている。	外部研修や事例検討を通じて職員の専門性向上を図るとともに、保護者支援や進路支援の充実にも取り組んでいく。 また、関係機関との連携を強化し、地域の中で切れ目のない支援体制づくりを進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	地域との交流機会や対外的な情報発信については、まだ十分とは言えない部分がある。 また、利用希望の増加に対して支援枠に限りがあり、柔軟な受入調整が課題となっている。	日々の支援業務や送迎対応等により、広報活動や地域交流に充てる人的・時間的リソースが不足していることが要因である。 また、利用児童一人ひとりへの個別対応を重視しているため、受入人数の拡大が難しい状況にある。	ホームページやSNS等を活用した情報発信を継続するとともに、地域機関との情報共有や交流機会の充実を図っていく。 また、キャンセル枠の活用や利用調整方法の見直しを行い、可能な範囲で利用機会の確保に努める。